

3.0T[テスラ]-MRI装置を新規導入しました。

3.0T MRIとは

当院では現在1.5TのMRI装置3台（Siemens:Avanto/Aera, GEMedical:Optima360）が稼働していますが（T(テスラ):磁場の強さの単位、1T=1万ガウス）、4月より4台目として3.0T装置が新たに稼働することになりました。

超高磁場と言われる3.0T装置は15年ほど前に薬事承認されました。当初はさまざまな技術的困難があり、一部の研究施設などでの設置に限定されていましたが、技術の進歩はめざましく、近年では一般臨床病院でも広く普及するようになってきました。四日市近郊でも設置する病院が急速に増えてきているところです。

当院のMRI装置

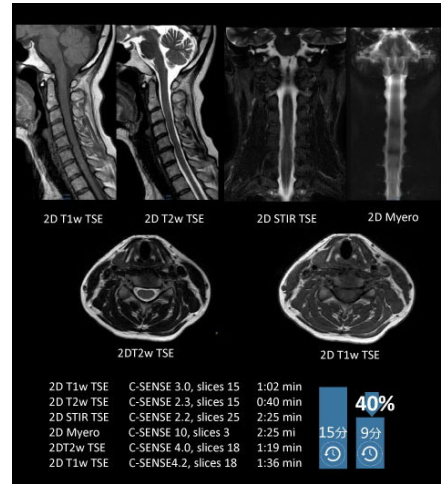
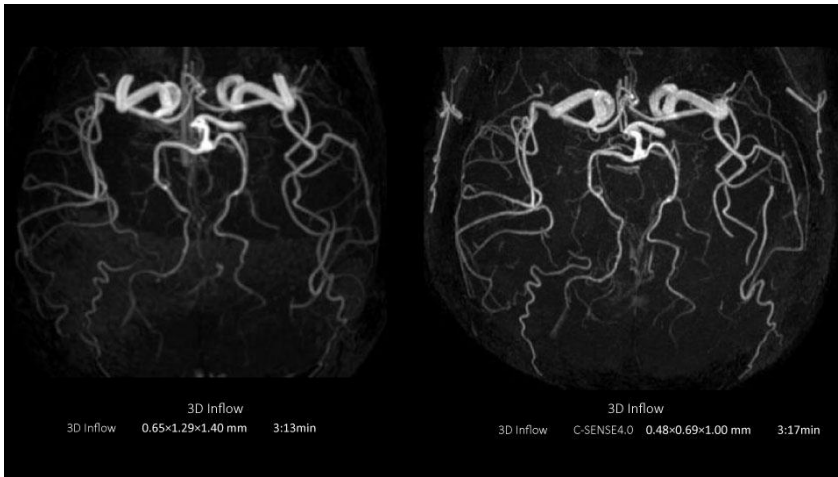


当院で新たに稼働するのは、昨年春に薬事承認されたばかりのフィリップス社製の最新鋭フラッグシップ機【確信が持てる画像診断・さらなる高速化の実現・検査ストレスからの開放】をコンセプトとした「Ingenia Elition 3.0T（エリシオン 3.0T）」です。

主なアピールポイント

- ①画像に悪影響を及ぼす渦電流を極限まで抑えた新型グラディエントシステムの搭載と、フルデジタル化されたRFコイル（信号受信系）により、従来よりも高い効率での信号取得を実現。空間分解能・コントラストの向上が可能となりました。
- ②近年話題の高速撮影技術である圧縮センシング（Compressed SENSE）により、さらなる検査時間の短縮を図ることが可能となりました。
- ③寝台上的マットレスは、ドイツの寝具メーカーと共同開発し快適性を追及したもので、寝心地が良くなったと評判です。また、映像と音楽によるリラックスした環境で検査を受けることが可能であり、患者様を検査中のストレスから解放します。

画質の向上



空間分解機能とコントラストの向上により、従来ではあまりよく見えなかった細かいところや血管、手、足もよく見えるようになります。

最新鋭エリシオン 3.0T の新規導入により、より高度な検査を快適に受けていただけるよう努めて参りますので、よろしくお願いたします。

(医療技術部中央放射線室)